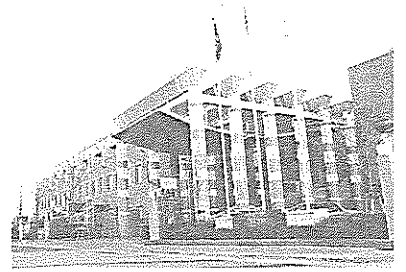


宇都宮市立図書館

としよかん

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320-0845 TEL 636-0231
宇都宮市立東図書館 今泉町2137番地 〒321-0962 TEL 638-5614



宇都宮市立東図書館

発刊1000号を迎えました

図書館の広報誌である「としよかん」が1981年（昭和56年）12月1日に第1号が発刊されて以来、今月号で発刊1000号を迎えました。

図書館の開館が昭和56年7月で、今年17年目です。【としよかん】も開館以来、図書館の歩みを文字を通して市民の皆様へ伝えてきたことになりました。

記念すべき第1号の記事をのぞいてみましょう。

B5版の4ページで、1ページには、「創刊にあたって」と題し、増山市長が、市立図書館を開館できた喜びと市民の皆様の要望に応えられる図書館づくりの抱負を述べています。

2ページは、図書館の各階の案内が写真入りで紹介されており、3ページには、「声のひろば」として、点訳・音訳ボランティアの方のご意見、視覚障害者の方が図書館を利用した感想などが紹介されています。

また、今も現役で活躍している移動図書館車つきII号の購入記事が掲載されています。

4ページをのぞいて見ますと、「ニュースコーナー」があり図書館の行事予定や利用案内、貸出状況などの記事があり、特に目をひくのは、開館まもないこともあり古書の手が困難なため、

市民の皆様へ寄付を呼びかけ、多くの方に協力をいただいたお礼の記事が掲載されていることです。

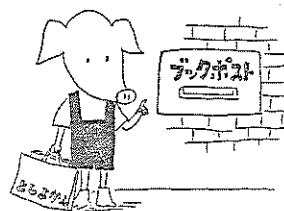
中央公民館図書室、雀宮地区などの各地区市民センター図書室が整備されるなか、平成4年7月には、2番目の図書館として駅東に市立東図書館がオープンし、創刊号で市長が抱負として述べた「市民の皆様の要望に応えられる図書館づくり」に一歩ずつ進んでいます。

現在図書館には、約100万冊の蔵書があり、年間40万の人が利用しています。

高齢化社会を迎え、生涯学習の場として、図書館の持つ役割が益々大きくなりつつある現在、市民の皆様が気軽に気持ちよく利用していただける図書館を目指すと共に、図書館の身近な情報誌として更に内容の充実した誌面で、館報「としよかん」をお届けしたいと思っています。

みんなの「ブックポスト」学

図書館や市役所、地区市民センターなどにある「ブックポスト」、すっきりおなじみになり、多くの方にご利用いただいています。今号では「ブックポスト」にまつわる皆様のさまざまな疑問にお答えしたいと思います。



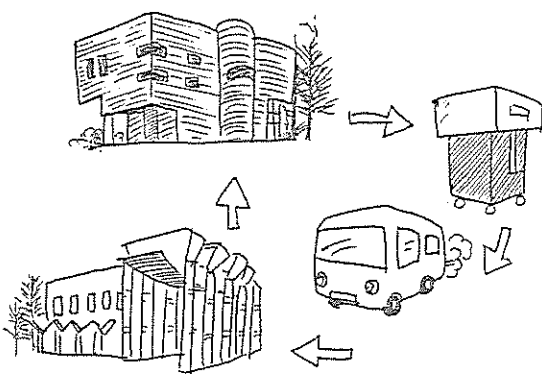
ギモンその①
ブックポストに入れた本はどうなるのか？

図書館や公民館では、開館前にブックポストの本を集めます。市役所のブックポストは、図書館職員が毎日車で回収します。回収した本は図書館ですぐに返却処理をし、書架に戻します。違う場所に戻された本は、巡回車でとあった館に戻します。

市立図書館、東図書館、中央公民館、本庁は毎日、その他の公民館図書室は定期的に巡回しています。

ブックポストのあるところ

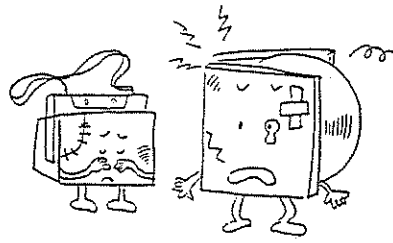
市立図書館（正面玄関右側）
東図書館（正面玄関左側）
市役所本庁（正面玄関右側）
中央公民館（正面玄関）
雀宮公民館図書室（正面玄関）
各地区市民センター前



ギモンその②

なぜビデオやCDを入れてはいけないのか？

ブックポストの底にはクッションを用意してありますが、本や雑誌の上に落ちたり、上から重い本がどさっと落ちれば破損の原因になります。ビデオやCD、カセットテープは特に破損しやすいため、直接カウンターにお返しいただいています。



ギモンその③

本は傷まないのか？

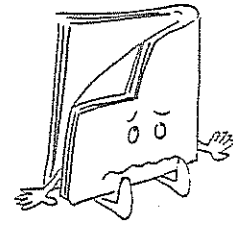
傷みます。図書館のブックポストの中は写真のようになっていて、そこに本が次々と落ちていくので、本にとっては大変な試練です。

ページが折れてしまったり、表紙がつぶれてしまったり、ひどい場合はこわれてしまうこともあります。

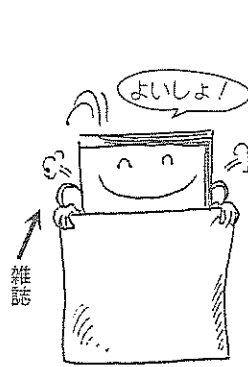
借りたものは、可能な限りカウンターに返していただきたいというのが、図書館と本の率直な気持ちです。

特に、大型本はブックポストにいれないようにお願いします。

ブックポストに本を入れるときは本が開かないように背のほうからそっと入れてください。



雑誌を入れるときは、袋に入れるなどしていただくと助かります。(すぐ出せるように、封はしないでください)



ギモンその④

本が痛むのになぜ「ブックポスト」を設置するのか？

図書館の本は「借りたら返す」が決まりですが、開館時間内に返却できる場合ばかりとは限りません。

いろいろな事情で開館時間内に来館できない方のためにブックポストを設置しています。



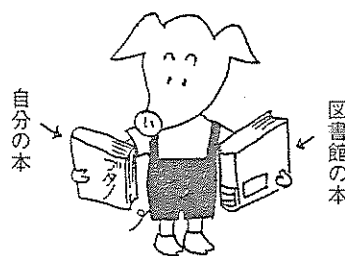
ギモンその⑤
ブックポストに入れたものが紛失することはないのか？

きちんと入れていただければ紛失することはありません。でも、入口にひっかかったままで、外から手をつっこんで取れるような状態ですと、持って行かれてしまうこともあります。

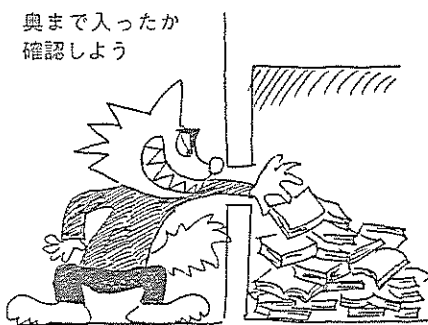
「ブックポスト」にご返却の際は必ず、中まで入ったかご確認ください。

よくよく利用のために

- ・本はなるべくカウンターへ。
- ・特に大型豪華本はブックポストに入れないでください。
- ・雑誌類は袋に入れてからポストへ(封はしない)
- ・ご自分の本がまざれこんでいることがよくあります。
- ・1冊づつ確かめながら入れましょう。



紙芝居も中でつまりやすいので、なるべく入れないようにお願いします。

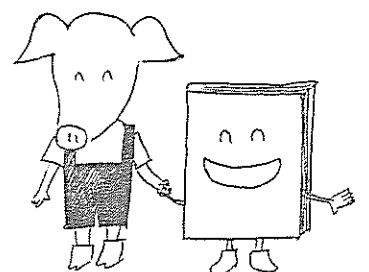


図書館からのお願い

- ・指をなめて頁をめくらない。
- ・食べたり飲んだりしながら読まない。



- ・雨の日の持ち歩きは濡れないように。
- ・のりつき付箋を長時間はさんだままにしない。
- ・(のりがうつってしまうので)本にはさんだものはずし、借りたときの状態で返ししょう。



第14回「うつのみやこども賞」

表彰式・受賞記念講演会

平成10年5月17日(日)

「スズメぼうし」の著者
たつみや章氏を迎えて

去る5月17日(日)第14回「うつのみやこども賞」表彰式及び受賞記念講演会が行なわれました。

平成9年度、10年度の選定委員をはじめとして、多くの受講者に参加していただきました。

△表彰式▽

最初に平成9年度の選定委員を代表して、赤石澤みさとさん、斎藤崇広くんから表彰状を、藤木瞳さん、横松祐美さんから花束をそれぞれたつみや先生にお渡ししました。

続いて、宇都宮子どもの本連絡会会長と市立図書館の館長から選定委員への感謝状と記念品の贈呈が行われました。

△講演会▽

たつみや先生と昨年度の選定委員との記念撮影に引き続き、受賞記念講演会に移りました。

受賞作品は、小学生の男の子が拾った帽子をかぶるとスズメに変身してしまい、様々な冒険をするという物語です。この物語を考えるにあたって先生がなさった想像を想像遊びとして披露されました。今ここで、ウサギになつたらどうなるか、大トカゲではどうなるか、1に行くとはどうしたらよいかなど、受講者と一緒に考えていきました。このような遊びを通して先生は、考え出す力を持つことが大事、物事を多方面から考えることが大事と強調されました。また、先生が物語を書く時の心掛は、楽しみながら書くことだ、と話されました。本当に伝えたいことを、好きな登場人物を出して、面白く書いているのだそうです。最後に先生ご自身の各作品について、裏話を交えながら紹介をして講演を終られました。

質疑応答でも活発に質問が出され、次回作の内容についてもふれていただきました。
「忙しい時期なので、大人からいただいた賞では来なかったかもしれない」と先生は言われたように、子ども達に支持されたことを大変喜んでいただき、有意義なお話を聞かせていただきました。



うつのみやこども賞受賞図書一覧

平成10年3月現在

年度	回	月日	著 名	著 者 名	出版 社
1984	1	'85 3/24	おばあさんのゾウ	かつおきんや 永井吐無	リブリオ出版
1985	2	'86 3/16	二分間の冒険	岡田 淳 太田 大八	偕成社
1986	3	'87 3/22	お江戸の百太郎	那須正幹 長野ヒデ子	岩崎書店
1987	4	'88 3/20	バッケの原の物語	吉田とし 牧野鈴子	小峰書店
1988	5	'89 3/26	ジャパニーズ・ドリーム	蜂屋 誠一 渡辺浩・桂子	偕成社
1989	6	'90 3/11	児童館の黒キリン事件	新庄 節美 岡本 順	講談社
1990	7	'91 3/10	クスギ林のザワザワ荘	富安 陽子 安永 麻紀	あかね書房

年度	回	月日	著 名	著 者 名	出版 社
1991	8	'92 3/8	テオバルトの騎士道入門	斉藤 洋 おぼまこと	理論社
1992	9	'93 3/13	ジューク月のしずく日のしずく	斉藤 洋 小澤 摩純	偕成社
1993	10	'94 3/12	八月の恐竜	三田村 信行 黒岩 章人	ほるぷ出版
1994	11	'95 3/11	うさぎ色の季節	緒島 英二 長谷川 知子	ポプラ社
1995	12	'96 3/9	塾七転び八起きの12歳	高山 栄子 武田 美穂	ポプラ社
1996	13	'97 3/8	ハートボイスーいつか飛べる日ー	青木 和雄 水野 ぶりん	金の星社
1997	14	'98 3/14	スズメぼうし	たつみや 章 広 瀬 弦	あかね書房

4月・5月の図書館の動き

△ステーションマスター研修会▽

4月3日

年度始めの4月3日に市立図書館とステーションマスターの方との研修会を行いました。

ステーションマスターとは、市内41ヶ所に設置されている移動図書館車のステーションのうち、特に利用者の多い16ヶ所で圖書の貸出・返却などのお手伝いをお願いしている方で、現在17名の方が活動されています。

この方達には、ステーションマスターとして図書館と地域の利用者との橋渡しという大事な役割を担って戴いております。

△点訳奉仕員研修説明会▽

4月22日

点訳奉仕員と図書館との研修会を4月22日に行いました。

点訳は、活字化された圖書を視覚障害者の方が利用できるように点字に翻訳することで、現在、図書館では、ボランティアとして、「点訳奉仕員」の方に点訳をお願いしております。

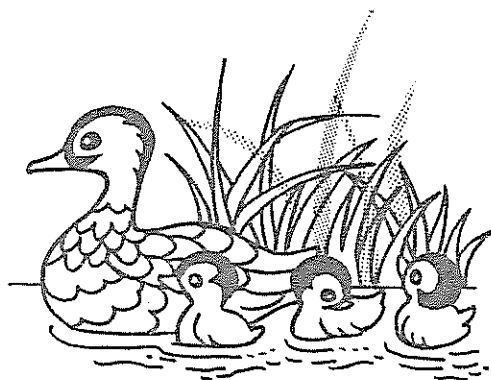
今回の研修説明会は、「点訳奉仕員」として、図書館の「点訳奉仕員養成講座」の受講を終了し、点訳奉仕員として登録されている方達を対象とした研修で、当日は平成10年度の研修内容等の説明をしました。

△音訳奉仕員研修説明会▽

4月23日

音訳には、音訳奉仕員が圖書などをよんでテープに録音して声の圖書を作成することや利用者（視覚障害者）の前で圖書などを読みかせる対面朗読があります。

市立図書館における「音訳奉仕員養成講座」を終了し、奉仕員に登録された方を対象とした研修で、当日は、今年度の研修内容等の説明をしました。



第95回 落語会

7月25日 市立図書館で

視覚障害者鑑賞用テープ作成のための落語会をのんき亭喜楽一門の協力により開催いたします。ぜひお出かけください。



- ▽日時 7月25日(土)午後2時
- ▽会場 市立図書館三階集客室
- ▽入場料 無料

当日直接会場へ

樋口一葉における

恋と死

▽日時 平成10年7月19日(日)

午後1時30分～3時30分

▽会場 市立図書館3階集客室

▽講師 宇都宮大学助教授

鈴木 啓子氏

▽内容 代表作「にこりえ」を中心に明治二十年代の「情死」

△心中▽の流行をめぐって

▽定員 60名

▽費用 無料

▽申込み 7月2日午前9時30分から

直接または電話で市立図書館へ。なお、定員になり次第締め切ります。

☎ 636 10231

目安箱Q&A

△問▽

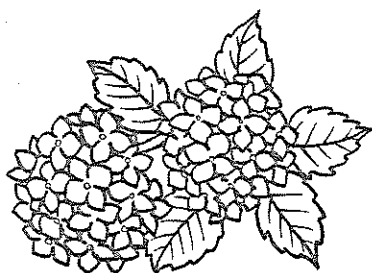
分類毎に整理された様々な本。多くの人に読まれる本のある書架にはぎつしりと本が並んでいます。一度手に取ってからの元の位置に入れるのに書架にスペースがないためどうしても本の上に横に置いてしまふことが度々あります。もう少しゆとりのある書架にならないのでしょうか。

(主婦)

△答▽

書架には図書館をご利用になる市民の皆さんの要望に応えられるように色々な種類の本が整理基準毎に書架に配置されています。

書架は毎日、職員が開館前及び閉館後の定期的な整理や、開館時間内に見回りながら、整理をしております。皆さんが気持ち良くご利用になれるよう、更に心掛けてまいりますので、これからも図書館をご利用下さい。



利用案内

○開館時間

1、火曜日・金曜日

午前9時30分～午後7時

(児童図書室は午後5時まで)

2、土曜日・日曜日・5月5日・11月3日

午前9時30分～午後5時

○休館日

1、月曜日

2、国民の祝日・休日

(土・日・5月5日・11月3日は開館)ただし月曜日に当たるときは翌日

3、年末年始(12月29日～1月3日)

4、図書整理日(毎月第3木曜日、ただし、祝日にあたるときは翌日)

5、特別整理期間(年に10日以内)

7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

□東図書館のみ休館